

あけましておめでとうございます。今年は年初めから穏やかな天候が続いていて暖かく過ごしやすいですね、会員のみなさま方、お子さま方お変わりございませんか。でもまだしばらくは油断できないと思いますが。

12月の保護者研修会には多数の方のご参加ありがとうございました。

さて、今年はいよいよ東海・北陸ブロック大会を石川県が担当する年です。あまり無理をせずに石川県らしい会にしたいと思っていますが、それでも各県より150名ほどの方々がお集まりになるとのことで皆様方のご協力をよろしくお願ひしたいと思っております。



第18回東海・北陸ブロック大会石川より12名参加

昨年11月18日～19日四日市市にて開かれた東海・北陸ブロック大会に石川県より12名(県支部・10名、石川病院・2名)が参加しました。今年ブロック大会はブロック内6県より200名近くの方が参加され2日間にわたって学習や交流を深めました。記念講演は「国立病院機構鈴鹿病院長」の小長谷正明先生の「脳のはたらきがわかる話」でスライドで脳の各部位の働きをわかりやすく話されました。「やっぱり違う男と女の脳」など興味深い話もあり、むずかしい脳のメカニズムを具体的な例を使って話され楽しく聞けました。

その後各県の障害者福祉施策の発表がありました。「障害者自立支援法」の実施に伴い起きてきた様々な問題の解決に苦慮されたことがどの県からも報告されました。2日目は「動き出した障害者自立支援法」というテーマでシンポジウムが行われました。行政の立場から、重心児施設の立場からそれぞれシンポジストを招いて活発な論議がされました。

今大会に参加された医王病院の松本さんから感想文が寄せられましたのでご紹介します。

第18回東海・北陸ブロック大会に参加して

松本 康子

11月18日(土)～19日(日)、三重県四日市市総合会館において「第18回東海・北陸ブロック大会」が開催され石川県からは12名の皆さんが参加されました。大会のテーマは「新しい福祉制度に向かって」サブテーマは「動き出した自立支援法」というものでした。

第一日目は、独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院長小長谷正明先生の「脳のはたらきがわかる話」の記念講演があり、その後三重県、岐阜県、静岡県、名古屋市の担当の方から福祉施策の発表がありました。内容は各県とも10月からの障害

者自立支援法の施行にたどり着くまでに大変なご苦労があったことや、この新しい福祉制度になって施設利用に具体的な変化があったことなどが報告されました。さらにこの制度のもたらした影響は「障害者も地域で当たり前の生活」ができるためのものであるのか、障害者側、事業者側、行政側、それぞれの立場から多くの課題が残されているとの報告でした。第二日目はシンポジウムで時間が足りないほどの盛り上がった議論がされました。

私の子どもは施設に入所しており自立支援法による一番の影響は負担額が多くなったことで、今後どのように変化していくのかという不安を持っていましたが、自分のことしか考えられなかったことを恥ずかしく思いました。この大会に参加し、在宅、通所されている障害者の方はもっともっと大変でたくさんの問題を抱えておられることを学び、障害者を取り巻く大勢の人たちが一致団結し、大きな力となって障害者を守っていかなければならないとの思いを新たにしました。松坂牛は食べ損ない残念でしたがチョコット旅行気分も味わえ楽しい大会参加になりました。

来年は、石川県がブロック大会の会場になります。山本会長のもと会員が一丸となって成功裡に結びつくようにがんばりましょう。

**** 石川大会について ****

日程と会場が以下のように決まりました。

日・時 平成 19 年 11 月 17 日 (土) 13:00～

18 日 (日) 12:00

会 場 大会 石川県女性センター 金沢市三社町
懇親会 「キャッスル イン 金沢」 金沢市此花町

大会までの準備や当日の運営に会員の方のご協力が必要となります。
ご多忙とは思いますがご協力よろしくお願いします。

よくわかった食事のこと



昨年 12 月 10 日に医王病院 ディケア棟にて保護者研修会を開催しました。講師として医王病院の言語聴覚士の佐藤先生、永浦先生をお招きして「食事について」の研修をしました。当日はスライドを使って嚥下のメカニズムや摂食・嚥下障害の原因や状態などをわかりやすく説明していただきました。その上で食事を楽しく・安全に食べるためのさまざまな取り組み方を指導していただきました。

食事をするときの環境の設定、安全な姿勢、食物の形態、食器の工夫、食べさせるときのスピードなど多くのことを教えていただきました。その後、参加者同士でお互いに食べさせたり、食べさせてもらったりの体験もしました。いつも食

べさせてもらっている子ども達の気持ちがよくわかりました。

講演の後は入所の方のグループと在宅の方のグループに分かれて実際の食事場面を両先生に見ていただいてアドバイスをいただきました。

日ごろ何気なく子どもの口に食物を運んでいたのですが、親のペースで進めてきたことがよくわかり、反省させられました。

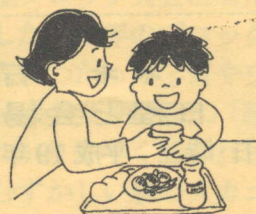
参加された皆さんからのアンケートをご紹介します。

本日の研修会で食事をするのが障害を持った子供たちにとっては非常な重要なことであることがわかりました。

私たち親は自分たちの都合だけで子供のことを考えないで、食事を与えていたことがわかったので今後は十分注意したいと思いました。

今日はプロの先生の口腔ケアの話が聞けて大変有意義な時間を過ごすことができました。前に日赤の看護講座を受けて病気の人の食べさせ方も学んだつもりでしたが、今回は食べ方のメカニズムがよくわかりました。今後この経験を活かしていきたいと思いました。

今日のお話を聞いて今まで子どものことをよく考えて食べさせていなかったことがわかりました。食べることについて普段はなかなか聞けない色々なことが聞けてよかったと思いました。



寄付のお知らせ

平成 15 年に「朋の時間」という映画の上映をしました。そのときに「守る会」も実行委員会に参加してお手伝いをしました。私たちの予想以上の人たちが見てくださって少しばかりの余剰金が出ました。講演会でもと思っていたのですがなかなか企画できずに 3 年がたったので各団体に分配し有効に使うことになりました。そこで当会にも 2 万 5 千円の寄付をいただきました。重症児（者）のために有効に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。



会員の現況

新入会員

正会員 永井さん、
賛助会員 荒田さん

正会員 84 名

賛助会員 23 名

第44回 「全国守る会」全国大会のお知らせ

日・時 平成19年6月16日(土)～6月17日(日)

場 所 神戸ポートピアホテル(分科会・式典)

後 援 厚生労働省、文部科学省、兵庫県、神戸市、全国社会福祉協議会
日本重症児福祉会、国立病院機構重症心身協議会…他

日 程 6月16日(土)

受 付 12:00～13:00

分科会 13:00～17:00

懇親会 17:30～19:00

6月17日(日)

みんなで語ろう 9:00～10:00

式 典 10:30～12:00

今年度の大会は神戸と近くで開催されます。全国の会員のかたがたと交流できるよい機会だと思います。皆さん誘い合って参加しましょう。
尚、くわしいことは次号でお知らせする予定です。

